

歴史はドラマチック！

T「今回のテーマは「歴史」です」
 F「歴史は！物語で！！読むんだよ！！」
 M&T「「！？」」
 F「そうすれば！もっと歴史を！！好きになってもらえると思うんです！！」
 T「Fさん、どうしたんですか」
 F「久々の歴史特集にワクワクしちゃって」
 M「かなり前にやった「恋とチャンバラ！」以来？あのとき展示した本は全く貸出されなかったような・・・」
 F「いや、今回はだいじょぶです。大河ドラマに横●流星出てたし」
 M「横浜●星、ちょんまげにしてもイケメンってずるいよね」
 F「話題になってる『鬼●の刃』は、大正時代が舞台だし」
 T「大正って、たしか短いんですよね。15年くらい？」
 F「そう。だから歴史ものの人気が高まっていると思うんです」
 M「私は奈良・飛鳥時代が好きかな。Fさんの好きな時代っていつなの？」
 F「平安時代というか、源氏平氏が活躍するあの頃が好きなんです。断然平氏推し♪『光●君へ』もめっちゃ良かったですよ～」
 M「あの頃だとさ、源義経ってかわいそうだよな」
 F「兄の源頼朝のために戦とか頑張ってたのに、結局その兄に討たれちゃいますからね」
 M「で、その後、実は義経は生きてて、モンゴルに渡りチンギス・ハーンになったという・・・」
 T「チンギス・ハーンに？！」
 M「いや、そういう説もあるっていう」
 F「歴史上にはホントかどうか分からない説も逸話もたくさんあります」
 M「そうそう。歴史小説だと、きっと作者の「こうだったらいいな」という願望も混ざって書かれてるよね」
 F「全部が全部事実じゃないっていうことも忘れずに、楽しんでほしいです」
 T「ということで、そろそろ対談の締めめに・・・」
 M「しまった。まだベルばらを語ってない」
 T「あの、そろそろ・・・終わり・・・」
 F「平氏はめっちゃ家族仲が良くてですね・・・」
 M「あ、新撰組もさ・・・」
 T「に、2時間コースや・・・!!!」
 (対談、いつもは1時間★)」



←QRコードでも
アクセスできます

Instagram公開中 ここにアクセスしてね★
<https://www.instagram.com/hondarake55>

Volume.70
YA通信

ホンダラケ

2025.10.1



しは歴史のし♪



ちなみに、ドは土偶のド。今回は歴史特集です

『13歳のきみと、
戦国時代の「戦」の話をしよう。』 房野史典/著
幻冬舎 2020年刊



210.4/20

この本では、戦国時代のはじまりからおわりまで、その間に起きた戦のいくつかを紹介しています。登場するのは、かの有名な「長篠の戦い」や「関ヶ原の戦い」などなど。
ひとつひとつの戦いについて、戦になった経緯、どんな武将がどんなふうに関わったのか、がストーリー交じりにポップな文章で解説されているから、理解しやすく楽しく読めちゃいます。
13歳のアナタにも、そうじゃないアナタにも楽しんでほしい、歴史話への興味とおもしろさを感じさせてくれる一冊です。

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやろうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA（ヤングアダルト）コーナーでご覧いただけます。

2か月に1度、年6回発行予定です。

ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。YAコーナーに用紙・ポストがごございますので、おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

青春読書記

～三田学園図書委員会より愛をこめて～

テーマは「スポーツ(eスポーツ)」
eスポーツも含まれちゃうところがイマドキってカンジ♪

『マイ・リトル・ヒーロー』

冲方丁/著 文藝春秋 2023 年刊

この本は、e スポーツを描いた本です。eスポーツはゲームで1位を決めるものです。内容は、暢光の息子・凛一郎が事故に遭い意識不明になります。しかしゲームでその凛一郎からメッセージが届くという話です。オススメは、ゲームのプレイを中心に話が進み、描写がリアルで臨場感がある所です。たまには本の中でゲームをするのはどうですか？

P.N. O.G. (中学 2 年生)



F/ウブ

「こんな本、棚から見つけました」

のコーナー

このコーナーでは、スタッフが棚を見て“再発見”をした本を紹介します

『わくわく！納得！手話トーク』

松岡和美/著 高野乃子/マンガ くろしお出版 2021 年刊

手話でお話している人を見たことがありますか？手話って耳の聞こえない人だけが使うもの？手話は「手話言語条例」に基づいて、日本語や英語と同じ一つの言語として認定されています。手話を学ぶということは、日本語以外の言語を学ぶのと同じこと。もちろん福祉の役に立つためでもあるけどね！日本で使われる手話にもいろんな種類があるし、外国の手話とも違うみたい。そんな手話の世界を漫画を交えてわかりやすく説明してくれる本です。



801.9/21

新着図書 Pick Up

『空と海と大地の言葉辞典』

神永暁/監修
西東社 2025年刊

よく雨が降る日本には「雨」に関する言葉が多いと言われています。季節や場所によって「空」も「海」も「大地」も違った姿を見せます。そんなさまざまな姿を表す言葉を辞典にまとめたのがこの一冊です。どの言葉にも実際の小説や詩歌の用例(古典作品だけでなく現代作家の作品からも引用されています！)がついていて、かっこいい言い回しや、美しい描写にときめきます。

言葉を知れば、ちょっとだけ深く世界にふれることができます。ぜひ手に取ってみてください。



814/25

難しいと思われるけれど、実は面白い名作があるから読んでみてほしいんです。

『東慶寺花だより』 井上ひさし/著 文藝春秋 2013 年刊

今の日本では考えられないけれど、江戸時代に女性が離婚しようとする、縁切寺に駆け込まなければなりません。その縁切寺として有名な鎌倉の東慶寺が舞台の連作短編集です。

売れない作家の主人公は駆け込んできた女性の話を聞くことになります。ある女性は、夫との仲が悪いのか、夫が浮気しているのか、酒癖が悪いのか、仕事をしないのかなどなど、考える理由すべてに首をふります。この女性が離婚したいのはなぜ？ そんな謎ときとともに当時の人々の人間関係がしみじみと響きます。



F/イノ